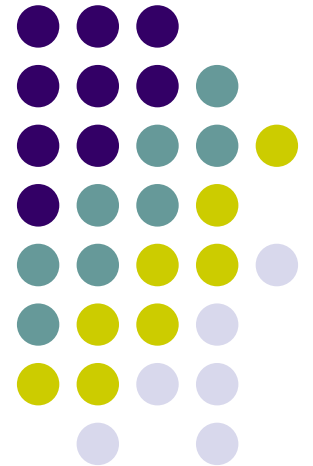


中国西南民族史

3. 三国・両晋時代の西南民族 (AD 3～4c)



徙・笮都

邛都

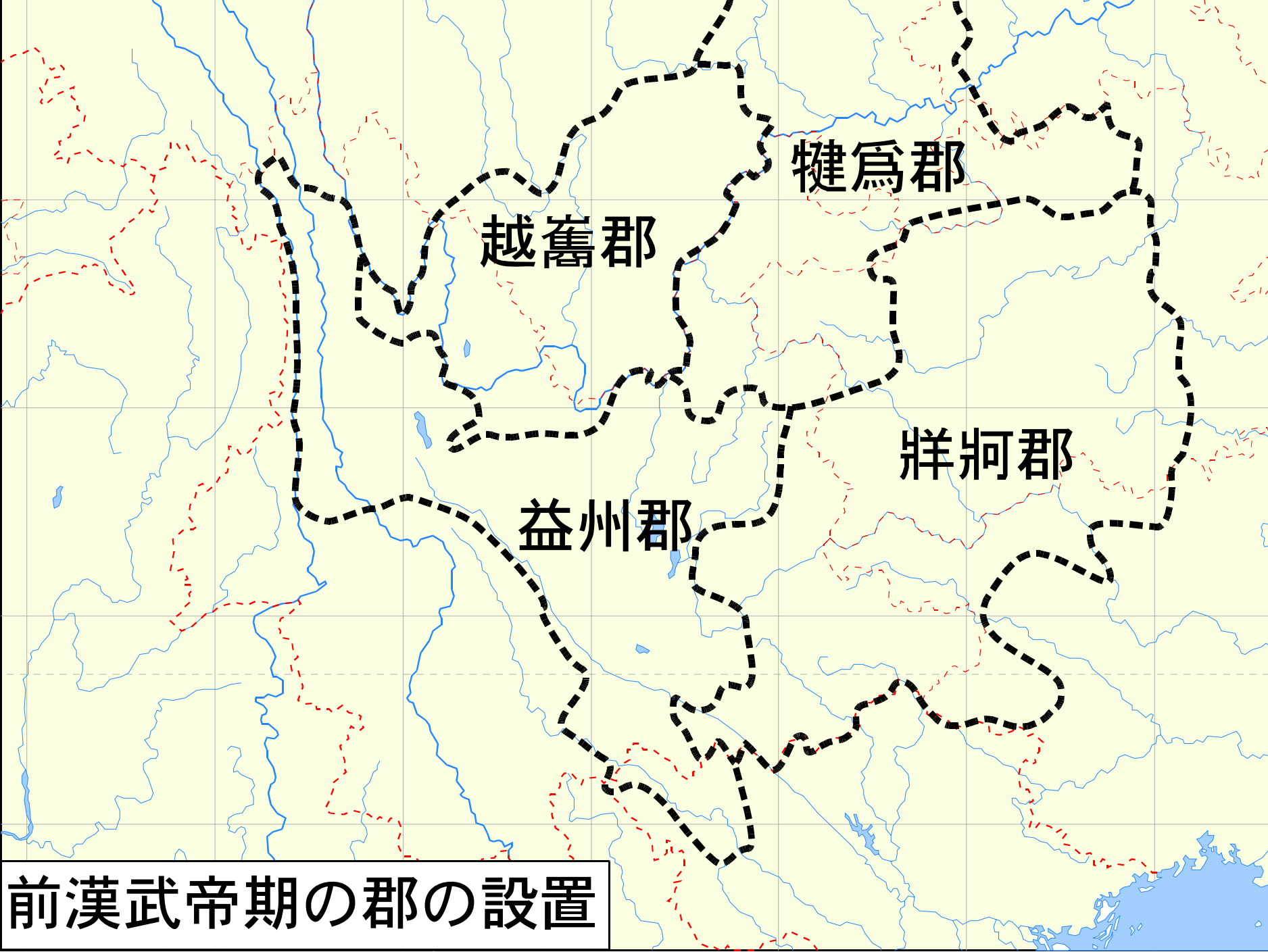
嵩・昆明

滇

夜郎

西南夷列伝の「君長」





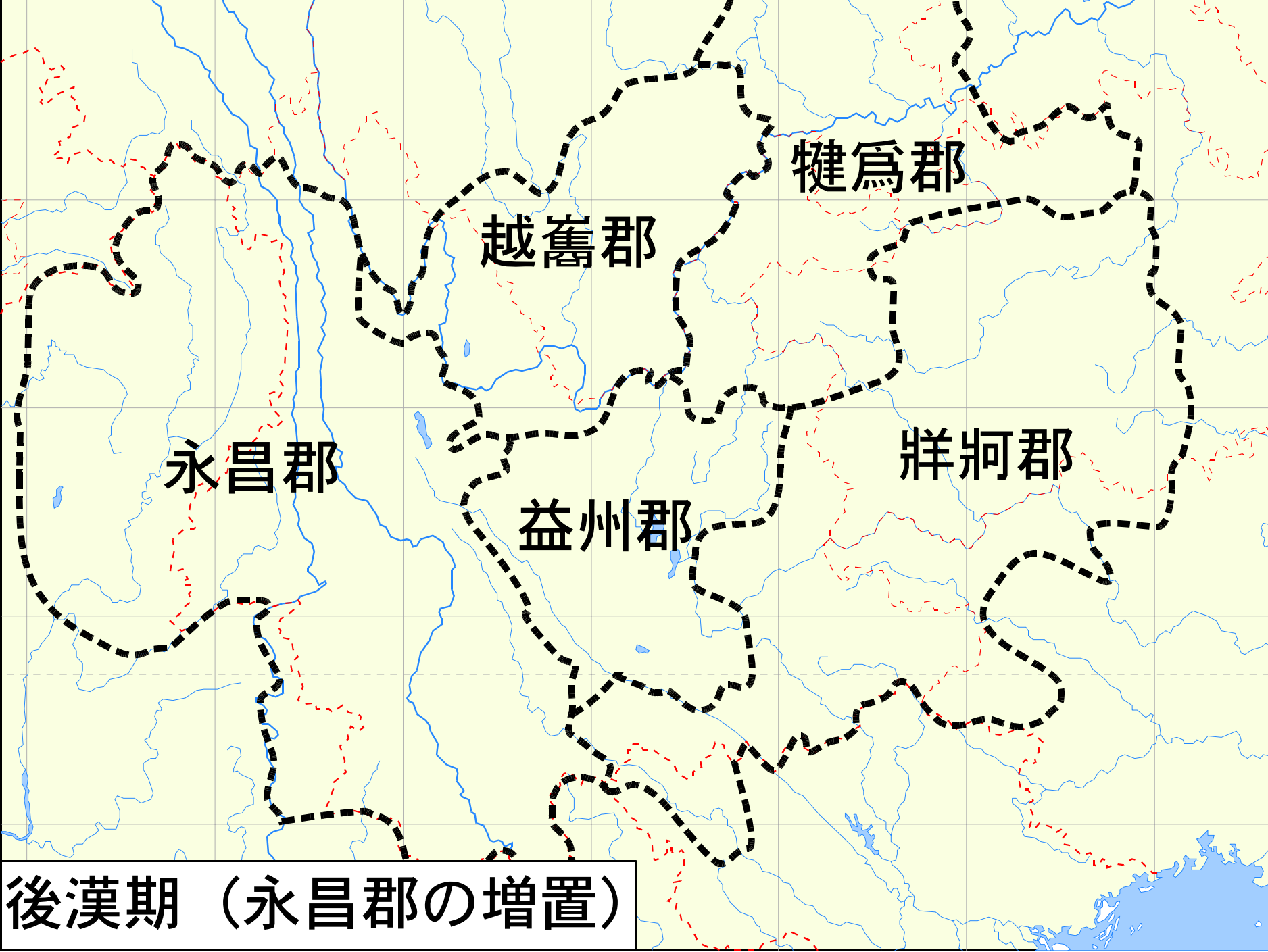
犍爲郡

越巂郡

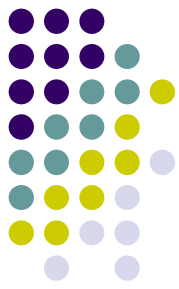
牂牁郡

益州郡

前漢武帝期の郡の設置



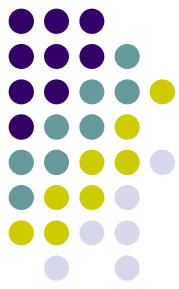
後漢期 (永昌郡の増置)



漢代西南の郡県の設置

- 益州郡 ← もとの滇国が中心
- 牂牁(そうか)郡 ← 夜郎
- 越巂(えっすい)郡 ← 邛都
- 永昌郡 ← 哀牢
- 犍為(けんい)郡 ← もとの僰侯国が中心

僰(ほく)人



「僂人」とは何か？

- 西南夷列伝には登場しないが、近年の（中国における）雲南民族史研究で重視される
- 秦、僂道を古僂侯国の地（現在の宜賓）に置く（漢書地理志）→ 犍為郡の治所
- 雲南西部洱海地区の居民、唐代「白蛮」の遠祖
- 「滇」と「僂」が対置される（貨殖列伝・食貨志）
- 民族系統／洱海地区への分布の時期には諸説



「僰人」の民族系統と民族移動

- 氏羌系民族説

- ① 秦代には四川東南部（僰道）

- 前漢中期より南下

- 西晋末の混乱期に滇西へ（方国瑜・林超民説）

- ② 秦代には四川東南（僰道）

- 漢代には滇池地区（滇国＝滇僰）

- 六朝爨氏＝僰

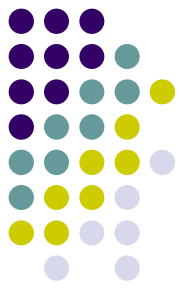
- 南詔時代の強制移民で雲南西部へ

（馬曜・王叔武説）



「僰人」の民族系統と民族移動

- (氏羌説)
 - ③雲南(および西南中国各地)の盆地にはじめから広く居住、**移住していない**(尤中説)
- 濮人説
モン・クメール語族ではなく、百越の北側に分布していた「百濮」の一派
- 僚人説
南北朝～唐宋の四川東南部の居民

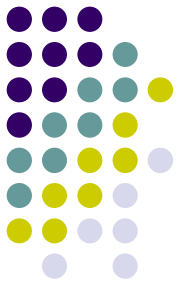


諸葛亮の「南征」(「五月渡瀘」)

- 蜀(蜀漢)の国土: 三国のうち最小(かつ後進地域)
成都盆地だけで北伐を支えるのは不可能

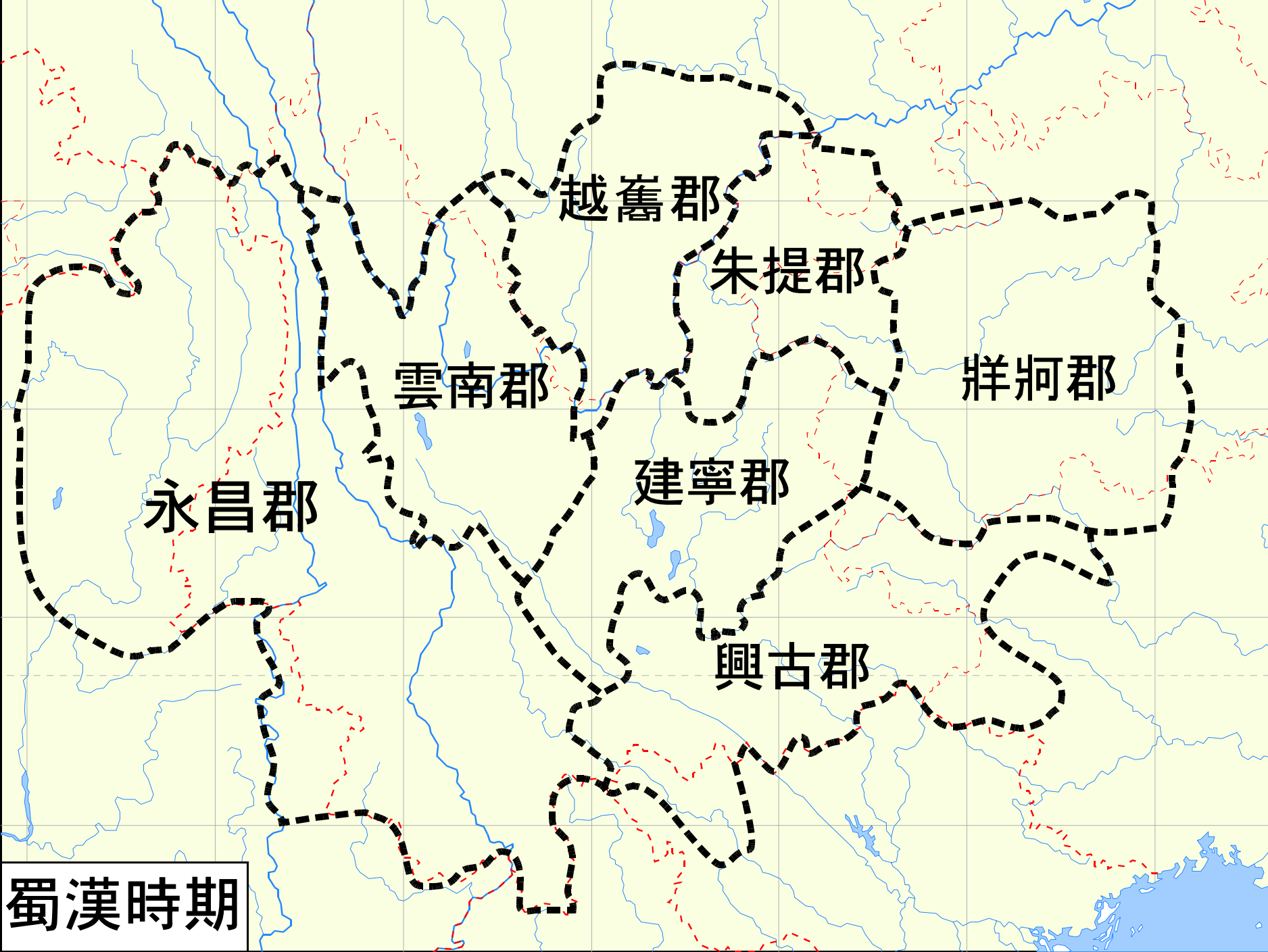


- 諸葛亮: 後方兵站基地として雲南を重視
 - 前漢以来の西南への移民活動
 - 人口増加・農業生産力・鉱産資源
- 建興3(225)南征(南中出兵) 「七擒七縱」孟獲
雲南郡・興古郡を新設



諸葛亮の南征ルート

- 郭沫若主編『中国史稿地図集』
(地図出版社、1979年)p.48
「諸葛亮南中用兵」などを参照してください。



越巂郡

朱提郡

雲南郡

牂牁郡

永昌郡

建寧郡

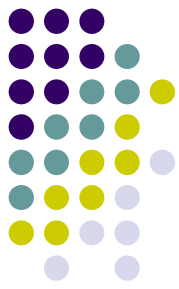
興古郡

蜀漢時期



「南中大姓」

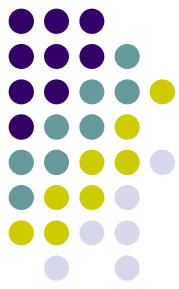
- 「南中大姓」の出現
『華陽国志』南中志：「四姓五子」
- その出自
 - ①漢人説（漢代以来の漢人移民の子孫）
 - ②少数民族説（漢化＝漢文化を受容した「夷人」）
- 漢人風の姓名
- 夷帥＝現地民族の首領 と深い関係
- 漢人・夷人の両者が支配下に存在（「夷漢部曲」）



爨(さん)氏の台頭

- 『華陽国志』南中志：建寧郡の大姓
→ 東晋～宋代に曲靖地区（雲南東部）で強大化
→ 昆明地区も併呑
- 名目的には南朝の刺史・太守を名乗る
→ 実質は世襲

爨



六朝時期(3世紀末～6世紀)

- 中原の混乱(八王の乱／永嘉の乱)
→ 支配力の後退・分裂状態(史料がほとんど無い！)
- 「晋民或いは交州に入り、或いは永昌・牂柯に入り、半ば亦た夷の困虜とする所と爲る」(南中志)
→ 僂人の移動と関係？(「晋民」は通常漢人を指す)
- 雲南東部：爨氏の独覇状態が続く
雲南西部：「張氏白子国」